

第67期 中間報告書

平成24年4月1日から平成24年9月30日まで

- 1P 株主の皆様へ
コア事業の営業基盤を強化し、
グループ連携による相乗効果の具現化を図る!
- 3P 財務の概況
- 5P 会社情報
株式の状況
- 6P 進化し続けるOUGグループ 株式会社うおいち
「食育活動」により魚食普及を促進





代表取締役社長

谷川 正俊

平素は格別のご高配を賜り厚く
お礼申し上げます。

さて、当社第67期第2四半期連結
累計期間（平成24年4月1日から平
成24年9月30日まで）の事業および
財務の概況のご報告を申し上げます。

平成24年12月

事業の経過およびその成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興需要などを背景に景気は緩やかな回復基調にありましたが、欧州債務問題、海外経済の減速などの影響から輸出や生産は減少し、また、雇用・所得環境は一部に改善の動きがみられたものの依然厳しく、個人消費は総じて低迷するなど足踏み状態で推移いたしました。

水産物流通業界におきましては、先行き不安などによる消費者心理の冷え込みや生活防衛意識から購買意欲は低迷し、低価格志向が浸透したまま販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の節減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりましたが、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,465億64百万円（前年同期比95.7%）となりました。損益面では、売上総利益は98億円（前年同期比89.0%）となり、営業損失8億99百万円（前年同期は営業利益3億63百万円）、経常損失9億1百万円（前年同期は経常利益5億19百万円）、四半期純損失9億68百万円（前年同期は四半期純利益3億41百万円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、取扱数量は増加したものの販売単価の低下により売上高937億70百万円（前年同期比96.9%）、冷凍鮭鱒の市況下落など

**コア事業の営業基盤を強化し、
グループ連携による相乗効果の具現化を図る！**

の影響による売上総利益率の低下及び貸倒引当金繰入額の増加によりセグメント損失4億29百万円(前年同期はセグメント利益3億34百万円)となりました。

<市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、消費低迷、販売競争の激化などによる販売数量の減少、エビ商材等の販売価格低迷により売上高525億80百万円(前年同期比93.3%)、間接経費全般の節減に努めましたが売上高の減少によりセグメント損失3億43百万円(前年同期はセグメント損失1億28百万円)となりました。

<養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、全国的な養殖ブリの在池量増加に加え、競合する魚種(サーモン、カンパチなど)による市況の影響を受け、養殖ブリの販売数量の減少、販売単価の下落により売上高19億94百万円(前年同期比81.4%)、間接経費全般の節減などに努めましたが販売単価の下落を吸収できずセグメント損失2億9百万円(前年同期はセグメント利益93百万円)となりました。

<食品加工事業>

消費地にある食品加工センターにて水産加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業は、平成23年9月より生産を開始した定塩鮭冷凍製品の販売が寄与し、また、前期末にて連結子会社を1社増加したことにより売上高20億91百万円(前年同期比129.2%)となりましたが、米などの原材料価格の高騰や販売価格低迷によりセグメント損失90百万円(前年同期はセグメント損失1億32百万円)となりました。

<物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け、自社便にて配送を行う物流事業は、通過物量の減少などにより売上高10億49百万円(前年同期比99.7%)、セグメント損失33百万円(前年同期はセグメント損失48百万円)となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高20億37百万円(前年同期比101.5%)、セグメント利益8百万円(前年同期はセグメント損失6百万円)となりました。

今後の見通しにつきましては、欧州債務問題、海外経済の減速などの影響から景気は先行き不透明な状況にあります。

水産物流通業界におきましては、引き続き消費者の購買意欲は低迷したまま低価格志向が浸透し、販売競争が激化するなど厳しい経営環境下にあると予測されます。

当社グループは、コア事業である「水産物荷受事業」および「市場外水産物卸売事業」の営業基盤の強化を図り、グループ連携による相乗効果の具現化に向けて、グループ内の加工機能、物流機能の強化を推進し、グループ情報基盤の整備や人材育成の強化などにより、全体最適経営の基盤固めに努めるとともに新たな成長を目指してまいります。

通期の連結業績につきましては、平成25年3月期売上高3,115億円、営業利益4億円、経常利益2億円、当期純利益50百万円を見込んでおります。

期末の配当金につきましては、1株あたり6円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務の概況

第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成24年9月30日現在)	前第2四半期 (平成23年9月30日現在)	前 期 (平成24年3月31日現在)
資産の部				
流動資産		54,505	51,740	49,371
現金及び預金		1,767	1,752	2,182
受取手形及び売掛金		30,135	28,654	29,055
商品及び製品		21,434	20,747	16,958
仕掛品		0	4	0
原材料及び貯蔵品		118	133	128
その他		1,440	1,399	1,326
貸倒引当金		△ 391	△ 952	△ 279
固定資産		20,599	20,964	20,968
有形固定資産		12,014	12,209	12,112
無形固定資産		2,915	2,848	2,897
投資その他の資産		5,668	5,906	5,958
投資有価証券		4,664	4,849	4,973
その他		2,916	2,359	2,831
貸倒引当金		△ 1,912	△ 1,301	△ 1,846
資産合計		75,104	72,704	70,340

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成24年9月30日現在)	前第2四半期 (平成23年9月30日現在)	前 期 (平成24年3月31日現在)
負債の部				
流動負債		48,748	45,068	41,791
支払手形及び買掛金		22,362	20,026	20,152
短期借入金		20,720	19,500	15,795
1年内返済予定の長期借入金		1,242	1,355	1,291
未払法人税等		94	102	120
賞与引当金		717	789	705
その他		3,611	3,294	3,726
固定負債		12,007	13,108	12,707
長期借入金		6,552	6,711	6,768
退職給付引当金		2,464	2,438	2,450
役員退職慰労引当金		74	54	68
負ののれん		8	225	42
その他		2,907	3,679	3,377
負債合計		60,756	58,177	54,499
純資産の部				
株主資本		14,491	14,783	15,788
資本金		6,495	6,495	6,495
資本剰余金		6,153	6,153	6,153
利益剰余金		2,086	2,376	3,382
自己株式		△ 244	△ 242	△ 243
その他の包括利益累計額		△ 145	△ 261	46
その他有価証券評価差額金		177	113	374
繰延ヘッジ損益		1	1	△ 3
土地再評価差額金		△ 324	△ 377	△ 324
少数株主持分		1	6	5
純資産合計		14,347	14,527	15,840
負債純資産合計		75,104	72,704	70,340

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務の概況

第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		〔自平成24年4月1日 至平成24年9月30日〕	〔自平成23年4月1日 至平成23年9月30日〕	〔自平成23年4月1日 至平成24年3月31日〕
売上高		146,564	153,168	320,787
売上原価		136,764	142,161	298,115
売上総利益		9,800	11,006	22,672
販売費及び一般管理費		10,700	10,642	21,654
営業利益		△ 899	363	1,017
営業外収益		222	382	766
受取利息		3	5	11
受取配当金		88	88	119
負ののれん償却額		33	182	365
その他		96	105	269
営業外費用		223	227	486
支払利息		168	165	345
その他		54	61	141
経常利益		△ 901	519	1,296
特別利益		—	—	138
投資有価証券売却益		—	—	138
特別損失		52	61	72
事務所移転費用		39	—	—
投資有価証券評価損		13	61	53
固定資産除却損		—	—	19
税金等調整前四半期(当期)純利益		△ 953	457	1,363
法人税、住民税及び事業税		66	53	75
法人税等調整額		△ 48	61	△ 65
法人税等合計		17	115	9
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益		△ 971	342	1,353
少数株主利益		△ 3	0	△ 0
四半期(当期)純利益		△ 968	341	1,353

注記事項 1. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 営業利益、経常利益、税金等調整前四半期(当期)純利益、少数株主損益調整前四半期(当期)純利益、少数株主利益および四半期(当期)純利益の△印は、損失を表示しております。

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期	前第2四半期	前 期
		〔自平成24年4月1日 至平成24年9月30日〕	〔自平成23年4月1日 至平成23年9月30日〕	〔自平成23年4月1日 至平成24年3月31日〕
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 4,008	△ 3,411	921
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 385	△ 240	△ 277
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		3,979	3,075	△ 797
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額		—	—	—
V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 414	△ 576	△ 153
VI. 現金及び現金同等物の期首残高		2,167	2,314	2,314
VII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額		—	—	6
VIII. 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		1,752	1,738	2,167

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



会社情報 (平成24年9月30日現在)

OUGホールディングス株式会社

会社概要

主要な事業内容 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

設立 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月)
資本金 6,495百万円
発行済株式総数 55,622,921株
従業員数 連結 1,357名 単独 32名

役員 の 体制

取締役	代表取締役社長	谷川正俊
	取締役	村松保範
	取締役	増田安利
	取締役	三輪光幸
	取締役	薄波卓郎
	取締役	角田晴夫
監査役	常勤監査役	玉田耕也
	常勤監査役	谷和道雄
	監査役	富田英孝 (社外監査役)
	監査役	和田徹 (社外監査役)
	監査役	伊藤博通 (社外監査役)
相談役	相談役	溝上源二
顧問	顧問	下川真二
執行役員	常務執行役員	原田史郎
	常務執行役員	中江一夫
	執行役員	岡田雅之

株式の状況 (平成24年9月30日現在)

株式の状況

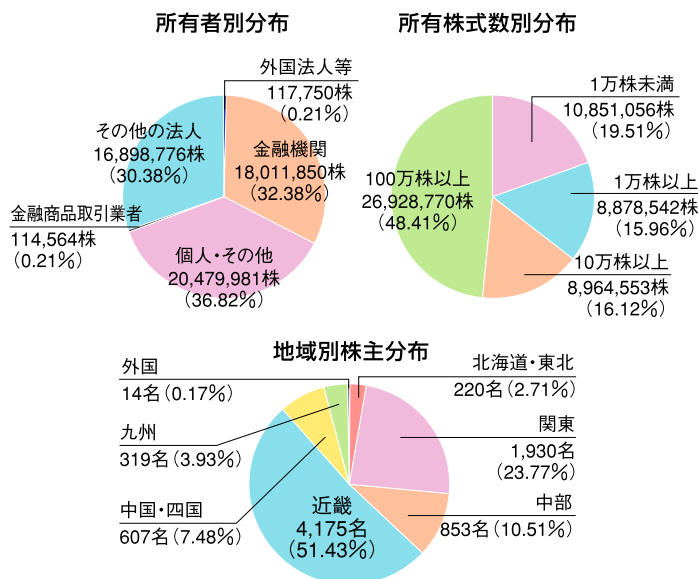
発行可能株式総数	209,159,000株
発行済株式の総数	55,622,921株
株主数	8,118名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 マルハニチロホールディングス	7,450	13.51
日本生命保険相互会社	3,680	6.67
農林中央金庫	2,636	4.78
株式会社 みずほ銀行	2,000	3.63
株式会社 りそな銀行	1,842	3.34
株式会社 三菱東京UFJ銀行	1,742	3.16
三井住友信託銀行 株式会社	1,600	2.90
三菱UFJ信託銀行 株式会社	1,519	2.75
株式会社 大丸松坂屋百貨店	1,154	2.09
丸大食品 株式会社	1,150	2.09
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社 大丸松坂屋百貨店退職給付信託口)	1,150	2.09

(注) 持株比率は、自己株式(483,217株)を控除して計算しております。

株式分布





お魚博士

■「食育活動」により魚食普及を促進

OUGグループの中核企業として中央卸売市場を中心に水産物荷受事業を営む(株)うおいちは、昭和22年創業以来、水産物の「安定供給」と「適正な価格形成」という社会的使命を果たしてまいりました。

同社では、「国民が生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むことができるよう(食育基本法:平成17年施行:内閣府)」始められた食育活動にも積極的に取り組んでおります。

同社は、平成18年から独自の食育推進理論である3S理論(「知る」「捌く」「始末する」)を基に「うおいち」ならではの食育活動を展開しております。漁港で漁業関係者と交流する「ライブ型お魚食育」、保育所などで子どもたちに魚に触れてもらう「出前型お魚食育」、魚料理のノウハウを調理しながら教える「キッチン型お魚食育」、とさまざまな方法で食育活動を行っております。

このたび、これらの魚食普及活動が認められ、水産庁の「魚の国のしあわせプロジェクト」の実証事業に登録されました。同プロジェクトに参加することにより、全国の関連企業・団体



大阪府泉南市の岡田浦漁港にて、府下の児童福祉施設の子どもたち「地引網体験」を行いました



大阪市中央卸売市場内で食育活動を行いました



大阪市中央区で開催された「第24回中央区健康展」で「親子で楽しめる干物作り」教室を実施しました

OUGグループ

◆ 水産物荷受事業
(株)うおいち

◆ 市場外水産物卸売事業
(株)シヨクリュー

◆ 養殖事業
(株)兵殖

◆ 食品加工事業
関空トレーディング(株)
ダイワサミット(株)
(株)トウニチ水産

OUGホールディングス(株)

◆ 物流事業
舞洲流通センター(株)

◆ 保険・リース事業
(株)トップ

と一丸となった食育活動、メニュー・商品提案、水産物イベント等の取り組みを行い、魚食普及を促進してまいります。

(株)うおいちは、これらの食育活動を通じ食文化の発展に貢献してまいります。



武庫川女子大学にて徳島県産ハモを使ったお料理教室を実施しました

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行（特別口座管理機関）の以下のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
 - ・東京 TEL 0120-244-479 (通話料無料)
 - ・大阪 TEL 0120-684-479 (通話料無料)

<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

上場金融商品取引所	大阪証券取引所市場第一部 (証券コード 8041)
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.oug.co.jp

免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

Web Information

当社ホームページでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表を行うページ、グループ各社の紹介等、様々な情報を掲載しておりますので、是非ご利用ください。

TOP PAGE



COMPANY PROFILE



GROUP VISION



○UGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号
うおいちニッセイビル5階
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145
URL <http://www.oug.co.jp>

<http://www.oug.co.jp>